

令和8年度第1回伊賀市健康づくり推進協議会 議事録

日 時：令和8年7月2日（木）午後3時～午後4時

場 所：ハイトピア伊賀4階 多目的室

出席委員：12名 竹澤委員、中井委員、内田委員、西口委員、坂本委員、河端委員、
西山委員、里中委員、藤森委員、釜井委員、富山委員、富岡委員

欠席委員：1名 林委員

事務局：5名 健康福祉部次長、健康推進課長、健康推進課主幹兼健康推進係長、健康推進課主査、
こどもの育ち支援課主幹兼母子保健係長

1. あいさつ

健康推進課長 あいさつ

2. 事務局の紹介

事務局：現在の委員の皆様は、来年の7月までの任期となっておりますのでよろしくお願い致します。事務局の紹介をします。会長、副会長につきましては、昨年度に引き続き会長を伊賀医師会の竹澤委員、副会長を伊賀市スポーツ協会の中井委員をお願いいたしたいと存じます。

協議に移らせていただく前に、この協議会は「伊賀市情報公開条例」第24条に基づき、会議の公開を行うこと、「伊賀市審議会等会議の公開に関する要綱」第8条に基づく会議録作成のため、録音をさせていただきますのでご了解いただきたいと思います。また、「伊賀市健康づくり推進条例」第14条第2項の規定により「協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。」となっております。本日は委員数13名のうち、出席者は12名であり、会議は成立していますことをご報告いたします。

会長におかれましては、「伊賀市健康づくり推進条例」第14条第1項の規定により、議長は会長があたることとなりますので、会議の進行を会長をお願いいたしまして議事に入りたいと思いますので、議事進行をよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

(1)健康づくり事業について 資料1

会 長：それでは、事項書に基づき議事を進めていきます。協議事項（1）「健康づくり事業について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

事務局 資料1 説明

議 長：事務局からの説明がありました「健康づくり事業について」何かご質問・ご意見ございませんか。

委 員：肺がん検診はレントゲンのみですか。CTの希望はできないのですか。

事務局：市の検診としてはレントゲンだけです。

委 員：がん検診など様々な事業をしていただけていますが、受診率についても記載いただくと分かりやすいと思いますので、次回から入れていただけるとありがたいです。

もう1つ、健康危機管理のところで、台風も先般ありましたし、各地で地震も頻発しています。こうした災害が起こっている中で、資料では「災害発生時にはスムーズに行動・対応できるよう体制づくりを図ります」とあります。災害時における市民の方の健康管理等について、検討されていることと、関係部局との連携状況を教えてください。

事務局：災害発生時における福祉避難所の開設については、今年度、関係部局と訓練を行う予定としておりますので、その中で検討してまいりたいと考えております。また、受診率については、提供できる範囲でお示しさせていただきます。

委員：予防接種の中で、带状疱疹については実施されていないのですか。

事務局：資料に記載漏れがありました。带状疱疹についても令和7年度から助成を実施しております。

委員：肺炎球菌ワクチンと带状疱疹ワクチンの助成の回数等について教えてください。

事務局：肺炎球菌ワクチンについては、65歳の方を対象に1回のみ助成をしております。带状疱疹ワクチンについては、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方を対象に、生涯1回限りという形で実施しております。

委員：大腸がん検診に関してですが、今年度は無料対象となる方の条件が複雑で非常に難しいと感じています。高齢者75歳以上の方は無料にはならないのですか。

事務局：若い世代に受けていただきたいという趣旨から、40歳から69歳までを無料とさせていただいております。

無料の対象者については、市のがん検診として実施するものを今年度から40歳～69歳までを無料とさせていただきました。併せて、特定健診と大腸がん検診を同時に受診すると無料になるという制度も実施しておりますが、そちらについては今年度で終了すると保険年金課から聞いております。そのため、今年度が最も複雑な状況となっております。多数のお問い合わせをいただいている状況ですので、特定健診と大腸がん検診のセット受診無料が来年度も継続するようであれば、対応を検討してまいりたいと考えております。

委員：大腸がんの内視鏡検査を私も受けましたが、具体的にはどのような検査内容になるのですか。

事務局：検便検査です。

委員：鮮血検査で陽性となったら、次の検査に行くという流れです。

（2）母子保健事業について 資料2

議長：それでは事項書に基づき協議事項（2）「母子保健事業について」を議題といたします。

事務局からの説明をお願いします。

事務局 資料2説明

議長：事務局から説明のありました「母子保健事業について」何か質問・ご意見ございませんか。

委員：母子保健事業の中で様々な法定業務も含め様々な事業に取り組んでいただいています。その中で特に注力されているものがあれば教えていただきたいのと、学校との連携の状況について教えてください。

事務局：子どもの育ち支援課には母子保健係、家庭相談係、発達支援係がございます。母子保健係ですと、母子健康水準の発行が母子保健事業で始まるということになっておりますので、聞き取りをしっかりと行わせていただき、一人一人に合った支援につなげるということを大事に取り組んでおります。また、学校との連携については、発達支援係が教育委員会と同じフロアに事務

室があり、係員として教員が2名おりますので、教員委員会と情報共有しながら対応をさせていただきます。

委員：出産をしてから母子手帳を受け取りに来られるというケースはありますか。

事務局：今年度は1件ございました。

委員：私は学校へ行かせていただく機会があるのですが、自分の子どもが通っていた当時に比べると、支援が必要な子どもが増えているように感じますが、実際はどうなんでしょうか。

事務局：1歳半健診、3歳半健診を通して見ますと、10年前に比べれば発達がゆっくりになっている印象はあります。

委員：健診の際に、早めの助言をするなど、何かされているのですか。

事務局：5歳児健診を通じて、小学校に行くまでにどのような支援が必要かを児童発達支援センターがごさいますので、発達支援係と連携をしながら発達相談を行っております。

委員：保護者の方もゆったりとされている方が多い印象を受けます。

事務局：保護者の受け止め方については多様化していますので、一概には言えないです。

（3）伊賀市自殺対策行動計画進捗状況について 資料（3）

議長：つづきまして、協議事項（3）「伊賀市自殺対策行動計画進捗状況について」を議題とします。事務局からの説明をお願いします。

事務局 資料3説明

議長：事務局からの説明がありました「伊賀市自殺対策行動計画進捗状況について」何か質問・ご意見ございませんか。

委員：今年に入って、高校生がSNSで発信しながら亡くなってしまった事案があったと聞いております。SNSで発信するという行為は、周囲に気付いてほしいという思いの表れだった可能性があると考えます。発信は1回限りではなかったはずであり、そうした継続的な発信も「気づき」の一つとして捉えるべきだと感じます。

委員：若者の自殺の中にはオーバードーズのケースもあると聞いておりますが、三重県における若者の自殺について、どのような傾向があるのか分析されていますか。

事務局：全国的に薬物の問題が増えているということは全国で拝見したことがあります。ただ、三重県において特にこれが多いといった傾向まで把握できる資料は見当たりませんでした。

委員：いじめが原因で悩み抜いて死を選択してしまう子どもたちがいるということは少なからず聞いています。薬物の問題も含め、学校教育と取り組んでいかなければならないと思います。

私も、青少年の健全育成の一環として、毎年、小学校6年生や中学校3年生を対象に、薬物に関する出前講座に伺っています。それが果たして効果を生んでいるのか、自分では信じたいところです。

一人でも多くの方が、こうした子どもたちの問題に関心を持っていただければと思います。大人の場合については、困窮が原因で死を選択してしまうケースもあります。私も困窮者支援として、コロナ禍ではさまざまな支援に関わらせていただきました。

何が決定打になるのかは分かりませんが、やはり市民全体で、皆で考えていくという気持ちを持ち続けることが大切だと思います。口で言うのは簡単でも、実際に行動していくのは難しいと感じています。

本日は各団体の代表の方々にもお集まりいただいておりますので、私自身も引き続き意識を持って取り組んでいきたいというのが感想です。また、行政の皆さまには、その点も含めて十分に情報を分析していただき、可能な範囲で私たちに提供していただければありがたいと思います。

委員：オーバードーズの話になりますが、ドラッグストアを何店舗も回って購入したりすることで、最終的には大量に購入することも可能になるという話を聞いたことがあります。
例えば、15歳前後（小学校6年生や中学生くらい）の子どもが、興味本位で咳止めを買いたいと言って来た場合、薬局側はどのように対応されるのでしょうか。

委員：オーバードーズ防止のため、18歳未満への販売は規制がかけられており、本人確認も必要になります。

委員：私も学校で指導する際には、箱や説明書に記載されている用法・用量を確認し、「必ず守ってください」と伝える程度しかできていないのが実情です。しかし実際には、咳止めを飲むと気持ちよ、ストレスが解消される、といった情報がSNS等で子どもたちの間に広がっているとも聞いており、その点が心配だと感じています。

委員：社会福祉協議会では、子育て世帯を対象とした食糧支援（お米パントリー）を年2回実施しています。今年度は子育て世帯に加え、高齢者世帯にも拡大して募集を行う予定です。来られる方が「助けて」と言える環境づくりが必要だと感じています。介護疲れによる自殺も増加傾向にあり、早く気付いていればと感ずることもあります。

議長：以上で、本日の議題は全て終了しました。
「その他」の項に移ります、事務局からお願いします。

事務局：「伊賀市インフルエンザ等対策行動計画の策定について」報告

議長：他はよろしいでしょうか。

議長：では、これをもちまして本日の協議事項は全て終了いたしました。議事の進行にご協力をいただきありがとうございました。

事務局：今年度の健康づくり協議会は協議内容がない場合、今回のみと考えています。
これをもちまして、令和8年度第1回伊賀市健康づくり推進協議会を終了いたします。ありがとうございました。